

型 式 : ソレール式SNS9ハイパーライトR503L型超軽量動力機(複座)
識別番号 : JR0921(財団法人日本航空協会識別番号)
発生場所 : 北海道静内郡新冠町字新栄197番地先の雑木林
発生日時 : 平成6年7月31日 11時10分ごろ

1 航空事故調査の経過

1.1 航空事故の概要

JR0921は、平成6年7月31日、操縦者及び同乗者1名が搭乗し北海道静内郡新冠町の場外離着陸場を離陸直後、エンジン回転数が低下し、同場外離着陸場に戻ろうとしたが、11時10分ごろ同場外離着陸場の北東約130mの雑木林に墜落。

搭乗者数	操縦者及び同乗者1名		
搭乗者の死傷	操縦者	重傷	同乗者 重傷
航空機の損壊	大破、火災発生なし		

1.2 航空事故調査の概要

主管調査官が、平成6年8月1日～2日、現場調査を実施。
原因関係者として、操縦者から意見聴取を行った。

2 認定した事実

2.1 乗組員に関する情報

操縦者	男性	35歳
財団法人日本航空協会技量認定	No.553(昭和59年11月12日)	
型式の限定	舵面操縦型	
指導員(舵面操縦型)	平成4年4月1日	
認定員(舵面操縦型)	平成4年10月15日	
総飛行時間	約350時間	
同型式による飛行時間	約6時間	

2.2 航空機に関する情報

2.2.1 航空機

型式	ソレール式SNS9ハイパーライトR503L型
総飛行時間	記録なし

事故当時の重量

約260kg（仕様書最大重量350kg）

2.2.2 エンジン

型式

ロータックス式503型

2.3 機体調査

(1) 点火プラグ

後方プラグは、異常は認められなかったが、前方プラグには多量の燃料が付着。

(2) プロペラ

同機の仕様は、2枚ブレードであるが、3枚ブレードが装着されていた。

2.4 気象に関する情報

天気 薄曇り、視程 良好、風向 南東、風速 2m/s（操縦者の口述）

2.5 その他必要な情報

航空法第11条第1項、第28条第3項、第79条ただし書きの許可未取得。

3 事実を認定した理由

離陸滑走中、エンジン出力の追従が悪く、滑走距離が伸び、機体が浮揚した場所が離着陸地帯の終端付近であったため、そのまま離陸。

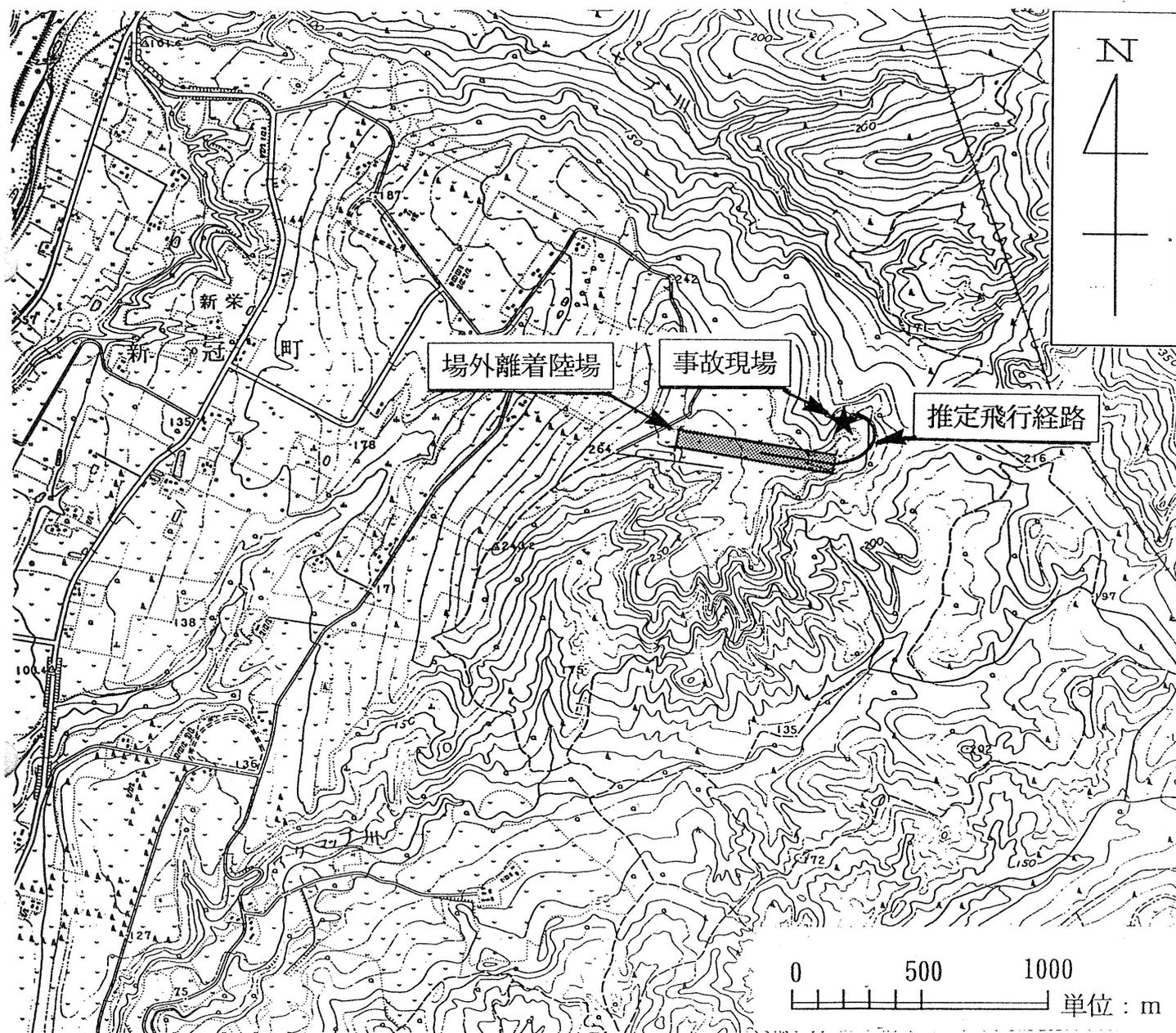
高度約100ftでエンジン回転数が約6,200rpmから約3,000rpmに低下したため場外離着陸場に戻ろうと旋回した後、失速に陥り雑木林に機首から墜落したものと推定。

エンジン回転数の低下については、前方点火プラグに多量の燃料が付着していたことから、飛行前の燃料流量の調整が適切でなく前方点火プラグが失火し、エンジン出力が低下したものと推定。

4 原因

飛行前の燃料流量の調整に適切さを欠いたため、低高度でエンジン回転数が低下し、失速して墜落したものと推定。

付図 1 推定飛行経路図



付図 2 ソレール式SNS9ハイパーライトR503L型

三面図

単位：m

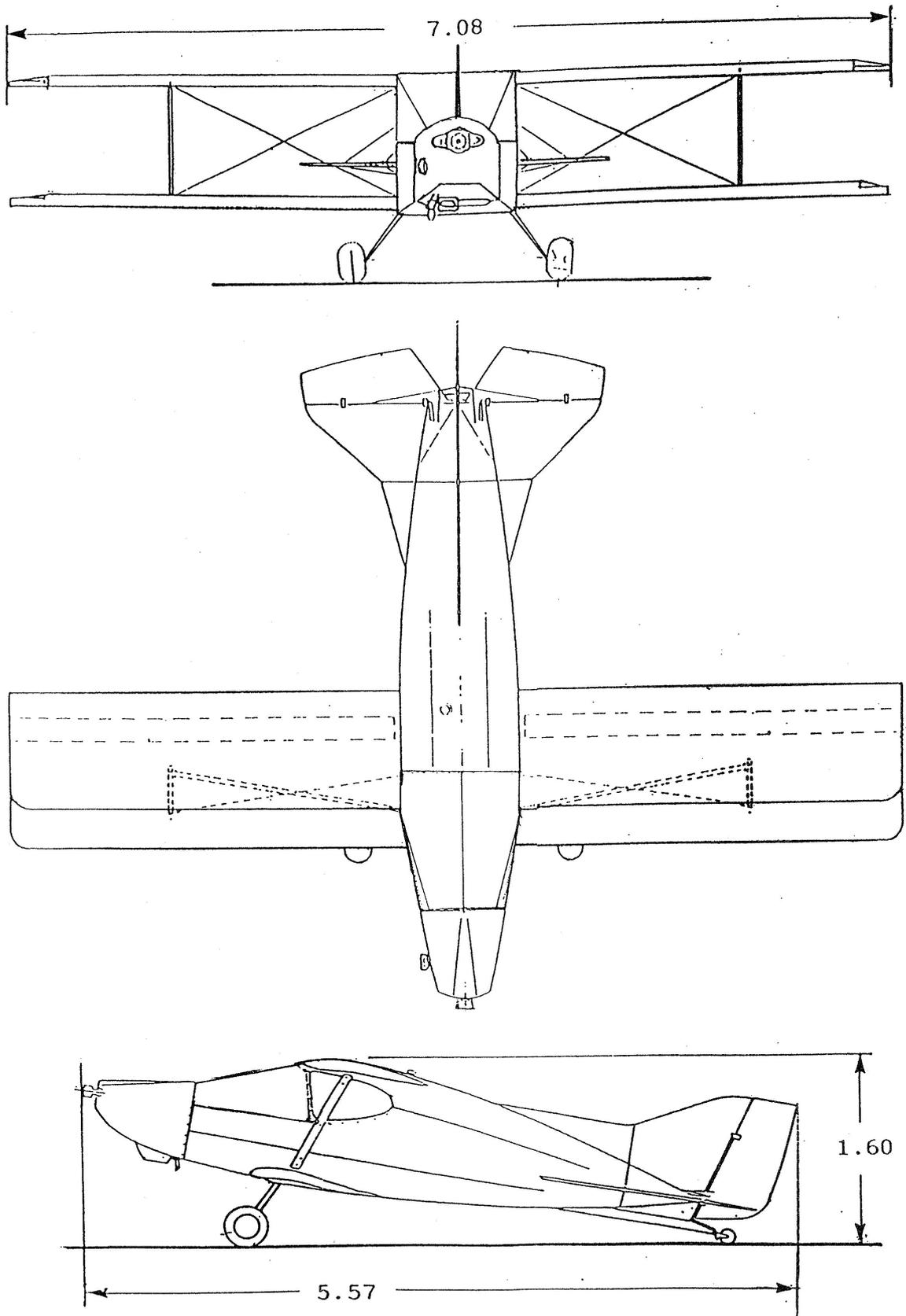


写真 事故機

